

教育功労表彰

ふるや
よしひさ

古谷 嘉久

70歳 安和

てらだ
りゅうぞう

寺田 龍三

83歳 横町

教育功労表彰

日本で一番子どもたちが本を読むまちをつくる会

団体

西古市町 会長 和田 耕造

教育功労表彰

須崎ジュニア
ソフトテニスクラブ

団体

新町 代表 中平 武夫

平成18年から毎年、市内の小学校の児童・生徒や保育園児に対して本の寄贈を続け、寄贈書籍数は30,000冊以上となり、この活動の結果、学級文庫の充実が図られ、始業前10分間の朝の読書活動が定着するなど、須崎市の教育の発展に大きく貢献されています。

団体

かわうそ未来塾実行委員会

教育功労表彰

上分内 実行委員長 大崎 稔

団体

株山岸竹材店

産業功労表彰

安和 代表取締役社長 山岸 義浩

小学生を対象にソフトテニスを通じて、礼儀や体力づくりなどを行うこと目的に結成された団体であり、社会福祉施設への慰問などのボランティア活動にも尽力されています。平成4年から22年間にわたり、児童の健全育成や生涯教育の増進に大きく貢献されています。

教育功労表彰



平成14年9月 よさこい高知国体力ヌーレーシング大会開催

須崎市 60 年史 1998~2014

昭和40年から49年間の多年にわたり、ラジオ体操の指導者として積極的に活躍されています。かわうそ子ども剣道大会や須崎ロードレース大会など生涯スポーツの振興に尽力され、地域の生涯教育に大きく貢献されています。

平成13年から、上分小学校児童を対象に、生きる力を育てるこことを目的として、共同宿泊生活体験「かわうそ未来塾」を開催し、児童の健全育成に尽力するとともに、地元との連携を行うことにより、上分地域の教育の増進に大きく貢献されています。

安和地区特産の虎斑竹を生かした竹材・竹製品製造業として、平成26年に創業120年を迎える須崎市の地域産業の振興に大きく貢献されました。教育旅行誘致時の体験メニューの受け入れなどの地域振興の功績も顕著です。

平成15年	平成14年	平成13年	平成12年	平成11年	平成10年
3月	10月	9月	4月	9月	3月
・須崎市・中土佐町合併協議会発足	・須崎道路(吾井郷→池ノ内間)開通	・高知自動車道(伊野→須崎東間)開通	・須崎市立スポーツセンター完成	・須崎斎場「やすらぎの丘」完成	・須崎道路(池ノ内→新莊間)開通